

令和5年度 住宅の省エネルギー性能等の調査結果

昨年度は「住宅の省エネルギー性能等の調査」へのご理解・ご協力を誠にありがとうございました。この資料は、昨年度の調査結果の一部をまとめたものです。

■ 省エネ基準および ZEH 基準適合率

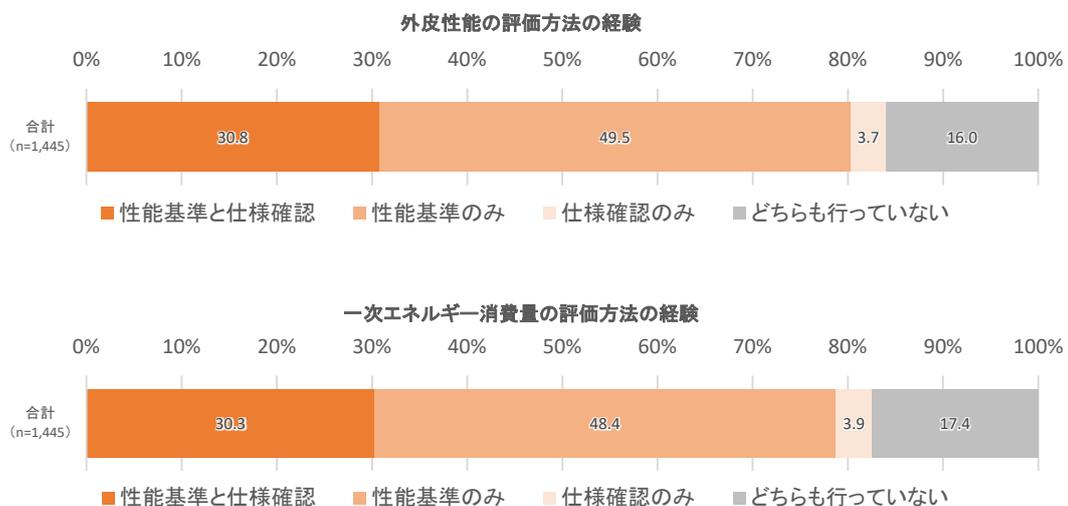
令和4年度の新築建築物の省エネ基準適合率および ZEH 基準への適合率は下表の通りです。また、新築戸建て住宅の太陽光発電設備設置率は 31.4%でした。

(参考)<https://www.mlit.go.jp/common/001730977.pdf>

	省エネ基準適合率	ZEH 基準適合率
全体	85.3%	36.6%
大規模住宅(2,000 m ² 以上)	85.7%	26.2%
中規模住宅	77.6%	32.3%
小規模住宅(300 m ² 未満)	89.1%	42.3%

■ 省エネ適合性の評価の経験有無

外皮性能および一次エネルギー消費量について、省エネ適合性の評価の経験有無の会社数比率を調査しました。いずれも評価方法として最も多かったのは「性能基準のみ」で、約半数を占めていました。



■ 2025年4月以降、仕様基準に基づく設計を行う見込み

2025年4月に予定されている省エネ基準への原則適合義務化後は、着工前に、登録省エネ判定機関による省エネ適合性判定(省エネ適判)を受ける必要がありますが、外皮性能及び一次エネルギー消費量を使用基準に基づき設計した場合、省エネ適判が不要となります。2025年4月以降、省エネ適判が不要となる、仕様基準に基づく設計をどの程度行う見込みかについて、建て方別に集計した結果、すべて仕様基準に基づく設計とする見込みの会社は戸建住宅では456社(31.6%)、共同住宅では114社(7.9%)でした。

